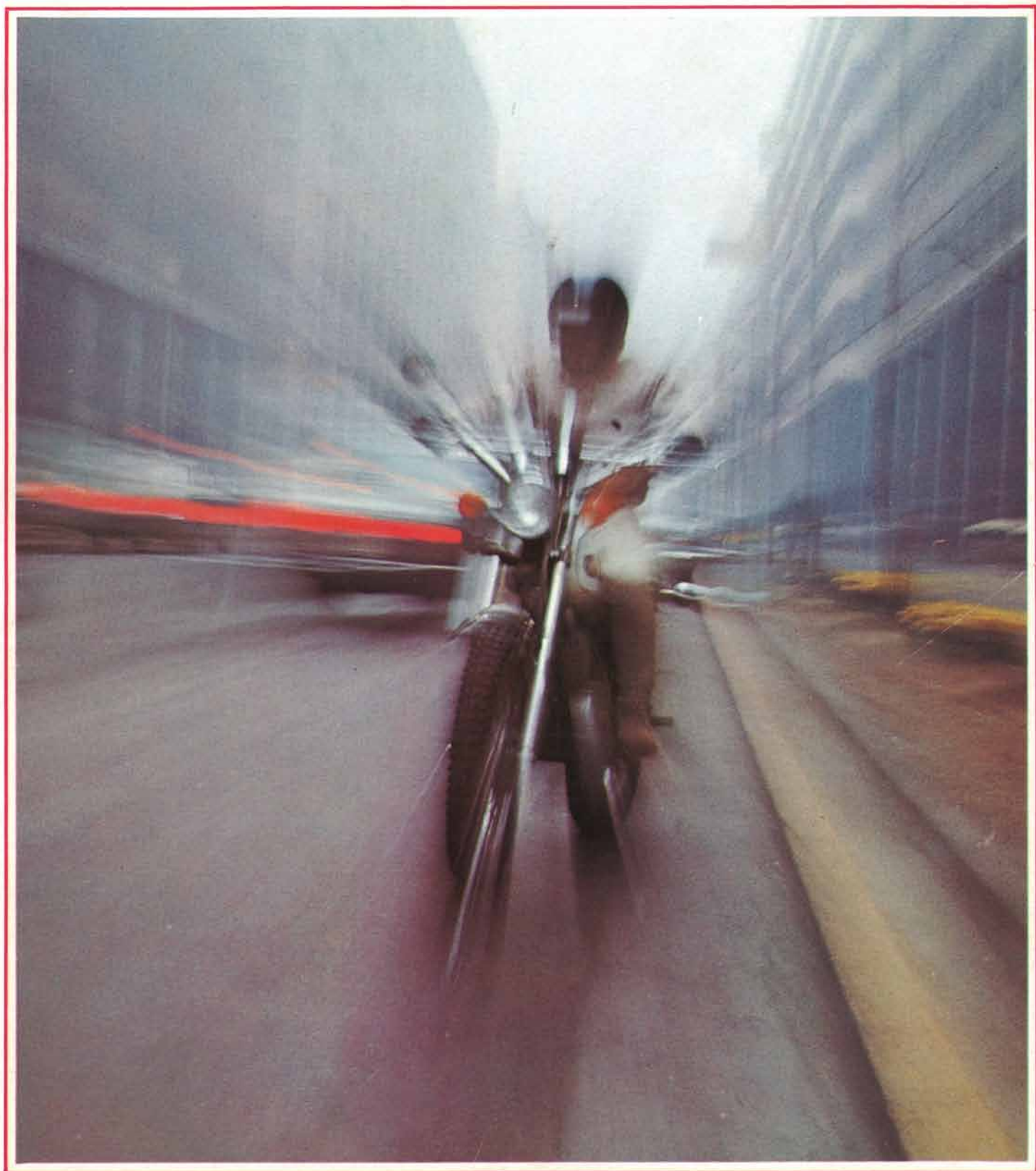


YAMAHA NEWS NO.80

ヤマハニュース '70 **2** FEB



〈新しい二輪車時代を築くヤマハ〉



春にそなえて
ヤマハ運転免許教室
を開きましよう

進学の時、就職の時、若い人たちの新しい日々が始まる時です。

春にそなえて「ヤマハ運転免許教室」を開き、あなたのお店に新しいお客さまをふやしましょう。

昨年のお春以来、ヤマハ運転免許教室は全国各地で開催され、たくさんのお人びとから好評です。とくに女性のメイト・ファンが目立ってふえました。

ヤマハ運転免許教室は「新しい二輪車時代を築くヤマハ」の活動の一環です。

免許教室ばんざい

売上げ県下20位から3位に躍進
山梨県中巨摩郡——曾根輪業



ヤマハ運転免許教室で新しいお客さまをふやし、お店の営業成績を伸ばしている販売店さんが各地で目立っています。山梨県中巨摩郡の曾根輪業さんもこうしたフレンド店のひとつ。日ごろの誠実で積極的な商法に、免許

教室の効果がプラスして、ヤマハオートバイの売上げが、県下20位から一躍、三位に進出したほどです。山梨県では、曾根輪業さんに負けじと、ヤマハ運転免許教室を開催する販売店さんがふえています。



びとも応援にかけつけて
ン?の乗り方指導。

いまま
すぐとれる
50cc免許

大好評 合格率実に86%

果文交通安全協会が真摯指導します NEW 安全豪華!

山梨オート販売株式会社

ヤマハ運転免許教室

うれしかった受講者の殺倒

南アルプスのふもと、中巨摩郡八田村にある曾根輪業さんは、山梨県下ではじめてヤマハ運転免許教室を開催したフレンド店です。昨年の夏、ヤマハ特約店の山梨オート販売からヤマハ運転免許教室の話聞き、すぐに開催を決心したのです。

他の販売店さんが関心を持って見守る中で、経営者の曾根正行さん(46才)と奥さんの一二三さんは、新聞にチラシの折込みを依頼し、村の所要所にポスターを張って歩きました。人の出入りの多い商店には、受講希望者の受け付けを依頼しました。

山梨オート販売も新聞広告で側面援助をするほどの熱の入れようでした。日ごろ、交通安全協会の役員として、安全問題に尽力している曾根さんの誠意と人柄が

奥さんも最前列で受講

いよいよ七月十四日、曾根輪業主催の第一回ヤマハ運転免許教室が開幕しました。山梨県交通安全協会に所属する望月正義教師がインストラクターとして教壇に立ち、法令講習会が開始されました。

午前中は法令の勉強。曾根一二三さんも第一回受講生として、最前列で熱心に講義に耳を傾けています。

午後からは模擬試験と採点。ついで、校庭

幸いして、地元の御勅使中学校でも、こころよく会場を提供してくれました。

こうして三日たち、一週間たち、開催日が次第に迫ってきましたが、受講の申込みはありません。曾根さんも、さすが焦躁の色をかくすことができませんでした。

開催日の三日前ごろから、急に受講申込みが殺倒してきました。その数が、四十人にも達したとき、涙が出るほどうれしかったのは、むしろ奥さんの一二三さんのほうでした。

「ポスターを張ったり、チラシをくばったりして宣伝したあげく、失敗におわつたらどうしよう」そう考えると、夜も眠れない日があったのです。新しい事業を成し遂げるさいにつきものの苦しみを曾根さんご夫妻もあじわったのです。

で正しい乗り方講習会が開始されました。

山梨オート販売からも指導員が派遣され、五台のヤマハメイト50と一台のヤマハ50F5を使って、乗り方のABCから親切に指導。受講者の大半が女性と中年以上の男性で占められていたにもかかわらず、夕方までには、全員がじょうずにメイトを運転できるようにになりました。

合格率も八〇%をこす好成績

ヤマハ運転免許教室の成果は、運転免許試験の合格率八〇%以上という好成績で実証されました。

この成功が刺激になって、自信を持ってヤマハ運転免許教室を開催する販売店さんがふえていきました。

曾根輪業さんもまた、九月十五日に第二回ヤマハ運転免許教室を開催し、再び八〇%以上の合格者を出しました。

ヤマハ運転免許教室によって原付免許を取



▲曾根輪業主催の第一回ヤマハ運転免許教室。女性の受講者が目立った。

全教室

ヤマハ運転免許教室

菅王町電王小学校

三軒屋 電話 25226-2083

田中 電話 25226-4557

免許の基本及び
ニードをあげたい方のために
レール教室 (会費500円)

日) 山梨市日川 重川橋下
あじふま道 山梨 牛山輪業

お申し込み下さい

35-2318



▲山梨オート販売のマン・ツウ・ウーマン

會根輪業の奥さま、一二三さんも免許教室のPRに懸命。



期待される女性ユーザーの開拓

「女性の受講者が多かったことも画期的なことでした。この辺では、奥さんでバイクに乗る人は少なかつたのですが、ヤマハ運転免許教室を開催することによって、こういう新しい需要がふえていくでしょう。まだまだ、バイクに乗らない奥さんは多いですから、これから先が楽しみです」

すぐにメイトを買ってくれなくても、ご主人が使っているメイトを二人で使うようになれば、代替えも促進されるし、いずれは一人一台という経過をたどるだろうと予測されています。

高校生向きのトレーラー教室も開催

農家のお客さまがほとんどなので、毎晩おそくまで外交に歩く會根さん。奥さんの一二三さんが「とおちゃんの身体は鉄だから石だかわからない」というほどのタフな活動ぶりです。

こんどは若いスポーツユーザーをつくつていこうと、新年早々には近くの釜無川の河原で、高校生を対象にしたトレーラー教室を開催しました。

ヤマハ運転免許教室も、會根輪業さんをは

得すると、すぐに會根輪業さんからヤマハメイトを購入したお客さまは十数人にのぼりましたが、會根さんは、このように直接、増売という形であられた効果以外の、いわば無形の成果を高く評価しています。

「まず、店の宣伝効果があがったことです。會根輪業というものの存在を多くの人びとに知っていただけた。ここへくれば免許を取らせてくれるという評判は、店にとつてかなり有利です」

特別セールのチラシよりも、運転免許教室のチラシのほうが、見る人に強い印象を与えると、會根さんはいいます。

「第二回目の免許教室を開催したときは、受講者のほとんどが、これまでつき合ひのなかつた人びとでした。噂を聞いて、かなり遠方からも来てくれました。免許教室の開催によって、販売のテリトリーがひろがったことは確かです」

新しい地域の市場を開拓する足がかりをつくるのにもヤマハ運転免許教室は役立っています。

はじめ、県下のヤマハフレンド店グループの熱意に動かされて、出張試験も実施してくれる地域がふえています。

會根さんは、規模の大きい免許教室と並行して、小人数の希望者を店に集めて、数多く開催していく方法も検討中です。

創業二十五年の信用に、こうした積極的な努力が加わって、會根輪業さんは、めざましい躍進ぶりをみせています。

月例ヤマハ交通安全

●第9回ヤマハ運転免許教室 11月16日(日) 下吉田第一小学校

●第10回ヤマハ交通安全教室 11月16日(日) 中山第一小学校

●第3回交通安全教室 11月9日

●50cc免許をとりたい方のため(100円代100円)

●シラバ

山梨市 桑原 輪業 0555-2-0307	山梨市 小沢 輪業 0555-2-0682
山梨市 加賀美 サイクル	山梨市 白須 輪業 0555-2-1457
山梨市 固定モータース 0555-2-0217	山梨市 小俣モータース 0555-2-4829
山梨市 吉村 自転車 0555-2-1746	山梨市 武藤 輪業 0555-2-0610
山梨市 宮茂モータース 0555-3-0005	

☆いすれも午前9時より開催・当日までに上記ヤマハ販売店 後援：山梨オート販売株PR係 電話：甲府



▲免許教室の趣旨を理解して、地元の御勅使中学校が校庭を会場に提供してくれた。

って っています

んの人びとから喜ばれています。
許教室でも、みごと試験に合格し
活に便利さをもたらせている女性



ヤマハ運転免許教室で真剣に勉強する清水さん。左側、前から2列目。
水玉模様の手拭いをかぶっている。



「免許があると、ほんとうに重宝」とよろこぶ清水玉恵さん。

野良への往復がずつとラクに

清水 玉恵さん(43才)

清水玉恵さんは、原動機付自転車(モーターバイク)が許可制であった時代から、バイクには乗っていません。ところが、免許の更新をしなかったばかりに、資格を失なっていたのです。

最近、山梨予備校にかよっているお子さんが90ccのオートバイを通学用に購入、ご主人の熊雄さんもヤマハメイト50を買って、二人が快調に走り回っているのに、玉恵さんだけが、野良への往復や買い物に行くにも、自転車では、というのでは、なにかと残り残されたような気分から抜け出せなかったのは当然です。そんなとき、玉恵さんは、ヤマハ運転免許

教室の話聞いたのです。

「せっかくの機会だから、思い切って受講してみよう。でも、これで試験に落ちたら、免許を取るのにはあきらめよう」玉恵さんは背水の陣で、ヤマハ運転免許教室に参加しました。ところが、玉恵さんは、なんと九十五点という好成绩で、免許試験に合格したのです。

「しばらくバイクに乗ってないと、ちよっとおっかない気もしていましたが、免許を取って乗っちゃえば、自信がきますね。農協へ行くにも役場へ行くにも、メイトに乗れば重宝します。とくに、野良へ出かけるときには、登り坂が多いので、自転車だとたいへんだけれど、メイトだと、とても便利ですよ」

ご主人やお子さんと、オートバイの話に花を咲かせる時間もできた玉恵さんです。



曾根輪業の奥さま、一二三さん（最前列中央）と久美子さん（その後列）

免許を取 メイトに乗

ヤマハ運転免許教室は、たくさ
曾根輪業さん主催のヤマハ運転免
て、あこがれのヤマハメイトで生
のお客さまが目立っています。



ピカピカのヤマハメイトで通勤する朗らかな久美子さん。

メイトで元気に通勤しています

中込久美子さん（18才）

中込久美子さんは、きよ年の春、高校を卒業してすぐに、八田村の会社に入社した、すこやかなお嬢さんです。

メイトでも十分ぐらいかかる自宅から、毎日、自転車通勤するのは、若い久美子さんでも容易ではありませんでした。

でも、原付免許を取るきっかけがないままに、何カ月かが過ぎてしまったのです。

ある日、ふと立ち寄った食料品屋さんの店先で、ヤマハ運転免許教室のポスターを見ました。

食料品店では、親切に、ヤマハ運転免許教室の内容を久美子さんに教えてくれました。久美子さんが、ただちに受講の申込みをした

のはいうまでもありません。

「運転免許試験は、高校の試験よりやさしかった。やっぱり、ヤマハ運転免許教室で勉強したのがよかったと思います。免許教室で模擬試験もやったので、度胸がつかました」

バイクにはまたがったこともなかった久美子さんですが、免許教室の法令講習会にひきつづいて行なわれた正しい乗り方講習会では、たちまちメイトの乗り方をマスターしてしまいました。

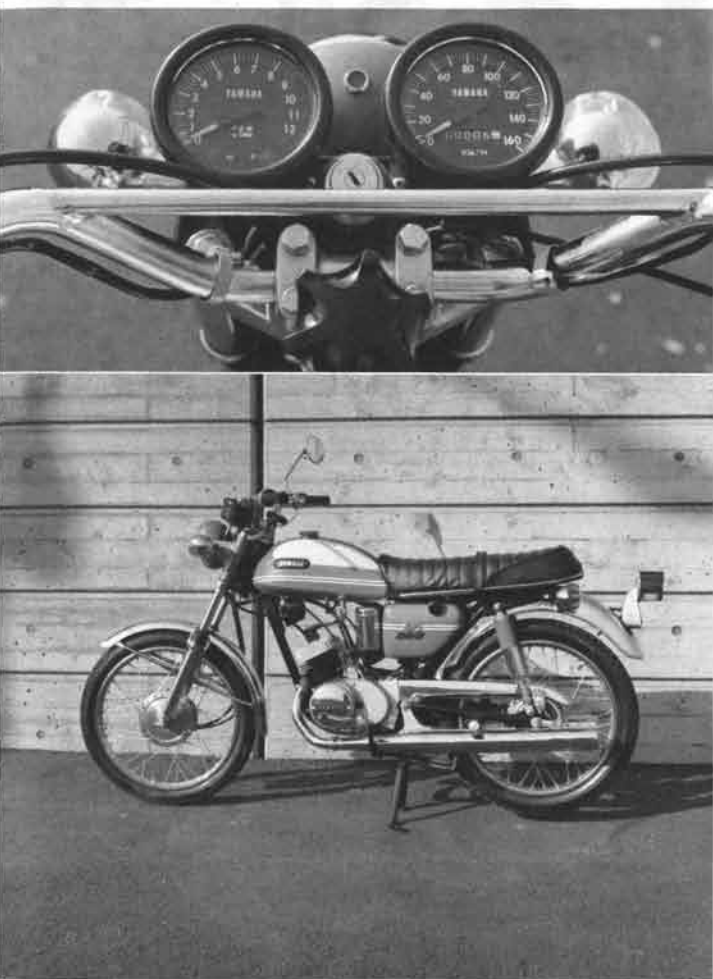
運転免許証が入るとすぐ、久美子さんは曾根輪業さんからヤマハメイト50を購入しました。

「メイトは、もちろん、毎日の通勤に使っています。車の調子はとてもよいです」

久美子さんのメイトと、ヤマハ運転免許教室のことは、お友だちの間でも、ときどき話題になります。

NEW MODEL YAMAHA SPORTS125AS2

セパレート式、タコメーターを
加えて一段とグレードアップ



シャープなデザイン、
みがきこまれたスタイ
ルがものをいうAS2

★★★★★……そして——アクセル操作に
敏感な反応を示す5ポート、パラレル・
ツインの実力派エンジン、クローズド
・レシオの本格的なリタイン式5段ミ
ツシヨン、軽量で強靱なダイヤモン
ド型フレーム、大型を明るくライ
ト類、能率のよいACジェネレ
ーター等々、新発売ヤマハス
ポーツ125AS2には数多く
の売れに売れる強烈なセ
ールズ・ポイントをも
つています。

高度な安全性をもりこみ 装いを一新して登場

ツアーに、レースに、抜群
の性能を発揮して圧倒的な人
気をもつ125cc級ロードスポ
ーツのピカー、ヤマハスポ
ーツ125AS2がスタイルを一新
高度な安全性をもりこんでデ
ビューしました。

シーズンの幕明けを目前に
して、ヤマハがお届けするこ
の魅力の新商品で、若いお客
さまを倍増してください—!

NEW! ヤマハ
スポーツ
125AS2

★人気独占! テア・ドロップ型の燃料タンク——ストライプが冴える
このフォルムが若人の心をうばいます

★豪華! キルティング仕上げのダブルシート——ソロで乗っても
ペアで走っても快適な乗り心地、ここが売れます

★抜群! シャープな操縦性のセリアーニ型フロント・フォー
ク——GPレーサーの技術がここにもごとくに結晶しました

★頑健! ブリッジ付のワイドなハンドル・バー——ラフ
・ロードでも乗りやすさはいちばん、最高にゴキゲンな売
りどころです

★充実! 高性能を能率的にひきだすタコメーター
を装備——グレード・アップしたこの装備、だんぜ
ん売れます

★安全! フロントにパワフルなツインカムブ
レーキを採用——高性能を安全にひきだす話題
の完全防塵防水式ブレーキで売れます

ストライプも鮮やかに目を射るリフレッシュ
 ヤマハスポーツ二五AS2² リターン
 式五段変速で、ゼロヨン一七・五秒、一三〇
 km/hのスピードをもつ

仕様諸元

全長 1,855mm
 全巾 770mm
 全高 1,020mm
 軸間距離 1,200mm
 最低地上高 150mm
 重量 98kg
 最高速度 130km/h
 舗装平坦路燃料
 65km/ℓ/(40km/h)

登坂能力 22.5°
 最小回転半径 1,750mm
 0-400加速 17.5sec
 制動停止距離
 11.5m/(50km/h)

エンジン種類 2サイクル5ポート
 気筒数配列 2気筒、前傾並列
 総排気量 124cc
 内径×行程 43mm×43mm
 圧縮比 7.0:1
 最高出力 15.0PS/8,500r.p.m
 最大トルク

13.30kg.m/8,000r.p.m

始動方式 プライマリーキック

点火方式 バッテリー

燃料タンク容量 7.5ℓ

オイルタンク容量 1.5ℓ

潤滑方式

一分離潤滑、ヤマハオートループ

バッテリー容量 12V、5.5AH

バッテリー型式

—MG3-12又はBST3-12

発電機種類 ACゼネレーター

点火プラグ型式

—NGK B-7HZ

キャブレター型式

—VM17SC×2

エアークリーナー型式

乾燥濾紙式

1次減速機構 歯車

同上減速比 74/19 3.894

2次減速機構 チェン

同上減速比 39/14 2.786

クラッチ型式 湿式多板

変速機

型式 常時噛合 5段

操作方法 左足動リターン式

変速比 1速 35/11 3.182

" 2速 29/16 1.813

" 3速 26/20 1.300

" 4速 23/22 1.045

" 5速 21/25 0.840

キャスト 63°

トレール 86.5mm

タイヤサイズ

—(前) 2.50-18-4PR

—(後) 2.75-18-4PR

懸架方式(前) テレスコピック

(後) スイングアーム

緩衝方式

—(前) オイルダンパーコイル

スプリング

—(後) オイルダンパーコイル

スプリング

フレーム型式

—鋼管 ダイヤモンド

ヘッドランプ 12V、35W/35W

テールランプ 12V 8W

ストップランプ 12V 20W

フラッシュランプ 12V 8W

パイロットランプN 12V 3W

パイロットランプF 12V 3W

パイロットランプH 12V 1.5W

メーター照明 3W×2

メーター形式

—タコメーター

—スピードメーター

—分離式

—



15馬力 8500毎分回転、1.30kg・m 8000rpmの高出力を生む
 2サイクル・2気筒・2キャブレターの5ポート・エンジン



世界名車
YAMAHA

台湾の観光地で働く 人気もののヤマハ

●写真後列右は台北市で抜群の
販売実績をあげている山葉機
車・野馬哈有限公司の許社長、
左に功学社の何営業部長、技
術担当のヤマハ発動機・中谷
技術員です

鳥來清流園山地





●正装した老女



烏来は台湾の箱根といったところ
ろで、山合い深く、山柴水明の景
勝地です。しかも、台湾の玄関口、
台北市から五〇キロほどのところ
で、シーソンの別なく観光客でに
ぎわっています。そして、この山
地で格好の足として定評を得てい
るのがヤマハなのです。



歌舞

色彩ゆたかな民族衣裳を着飾つ
て、ヤマハを囲んでいるみなさん
は、台湾・烏来で評判の山地舞踊
家の方々です。

愛車ヤマハ50にまたがっている
のは演出家で、日本名を勝雄と名
乗るもと尊長。そして左右になら
ぶ美女はもつか売りだし中のトッ
プ・スターです。

台湾でのヤマハの人気は高く、

最上級品を意味する代名詞ともな
っているほど。そしてこの台湾で
ヤマハをつくり、広めているのが
功学社さんと沢山のヤマハ販売店
さんです。

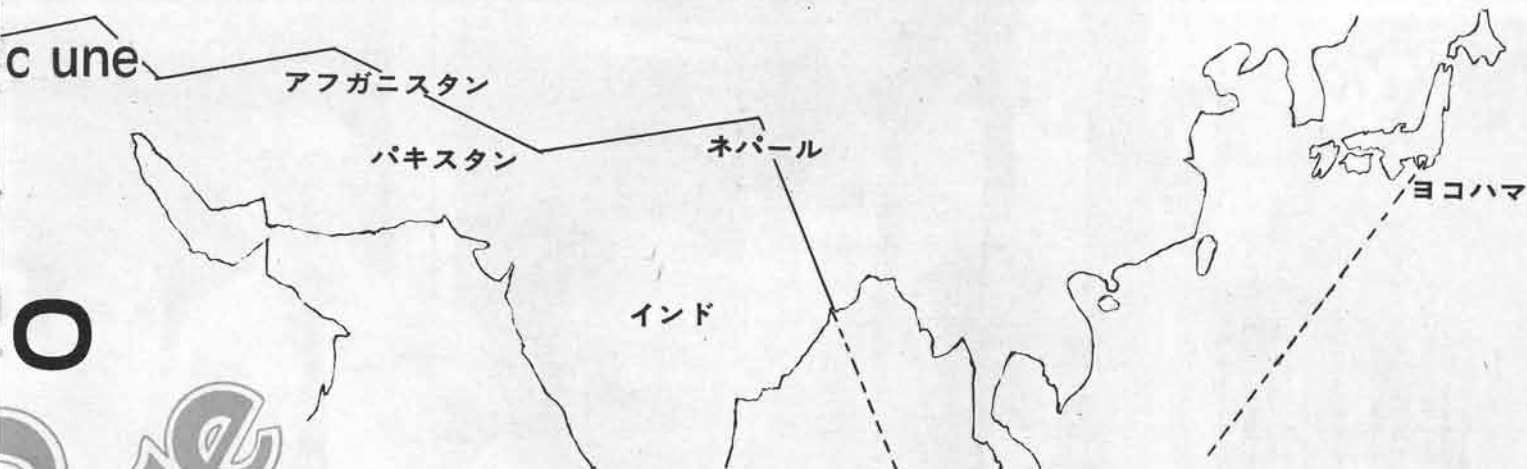


●内外のお客さんを前に山地舞踊を演ずる



32000き

ール250DT1で走破した
トラリアのM・リチャード君——



大陸横断の長距離旅行の手段といえば、まず飛行機があり、更には汽車があります。なるほど、これらの交通機関を利用すれば、距離がどんなに長くなろうとも、旅行はより速く、より安全にやつてのけられることは確かでしょう。

しかし、この種の旅行はなにかしら安直すぎて味も素っ気もないような気がします。

時間の余裕があり、その他の事情が許せば、ここが一番、自らハンドルを握る自動車か、オートバイにしたいところだとは思いませんか。

その中でも、文字通り乗り手と一体になるオートバイによる大陸横断旅行こそ、ビッグ・ツアーの名に値するものなのです。

そこには当然ロマンがあり、ドラマが生れるでしょうし、いろいろな民族、人種の風俗、人情の機微にふれる機会にも事欠きません。

さて最近、まだまだ未開の部分も多く残すアジア大陸を横断、更にヨーロッパ諸国をカバーする約三万二千キロの旅を、ヤマハトレール二五〇DT1でやつてのけた人がいます。その人の名はM・リチャード君、二十八才のオーストラリア青年です。

以下に仏誌モト・リビューに掲載されたピッグ・ツアー記の要約を紹介致します。

オーストラリアで生れ、オーストラリアで育つたリチャード君は、シドニーで建築学を学んだのち、光学研究のために来日、数カ月のスケジュールが完了したところで、一度先祖の土地である英国に行くことを思い立ちました。が、飛行機、汽車、船といったものを使用するのは余りにも平凡であり、未知の国々を踏破し、いろいろなお国柄や、人情の機微にふれながら旅を楽しむにはオートバイが最適であると断定しました。

ところで、未開の部分をかぎり残しているアジア大陸横断には、タフなトレールタイプのオートバイが適しているわけですが、トレールバイクでは一歩も二歩も先んじているヤマハの二五〇cc DT1をちゅうちよなく選び、荷物、予備ガソリン罐積載のための改造を加えました。





祖先の土地



イギリス

ヤマハトレ
オーズ

32000km à travers le monde avec

250 YAMAHA ENDUR

MOTO

身長一・九五メートルの快漢リチャード君は、一九六九年四月横浜港を出港、数週間後にインドのカルカッタに到着、ここからいよいよ大陸漫遊が開始されたのです。彼はまずハンドルを北に向け、ダージリン

を経て世界の屋根といわれるヒマラヤ山脈を擁するネパールに入り、エベレストから約一五〇キロ離れた首都カトマンズに到着。ここから進路を西にとり、インドのデリーを通過、カトマンズ地方に入り、更に西パキスタン、アフガニスタン、イラン、トルコを走破、ヨーロッパに入って、ブルガリア、ユーゴスラビア、イタリア、フランスの諸国を経てイングランドのサウザンプトンに渡り、約6カ月におよんだビッグ・ツアーを完了しました。

このツアー中リチャード君の経験したいろいろなアバンチュールは、極めて興味深いものがありますが、残念ながらそれ等をくわしく紹介している余裕がありません。

例えば、彼はインドの交通事情にまずびっくりしました。インドの社会自体が気がいじみでいて、けんそうを極める道路路上においてさえ、初歩的、原理的な交通規則さえも無視されていて、走行中に牛や、自転車や自動車等につづからなかったのは本当に運がよかつたんだとしみじみ語っています。

アジア諸国の道路状態は予想よりも遙かにわるく、また日中は四十五度Cにも達する酷暑の中の走行もしばしばでしたが、全行程を通じて彼のDT1のタフぶりは驚異的の一語に尽き、ただ一度だけワイヤーが破損したほかはノートラブルであったとのことでした。

ともあれ、リチャード君の大陸横断の壮舉は、ヤマハトレール二五〇DT1の性能テストのための絶好の機会になりましたが、この車の定評ある堅牢性、耐久性は十二分にその真価を発揮したことを彼は認めています。

そしてまた、彼の走行距離とにらみあわせて、あらかじめイランのテヘラン代理店に交換タイヤを送っておき、DT1の整備面でも種々の便宜をはかってくれたヤマハフレンドのみなさんの協力に対して心から感謝の意を表しています。

RENDAI
 車のバカ者
 おもしろ



ショールーム
 (Show room)

ヤマハオートバイの販売店さんの間でもショールームづくりが流行しています。これからは積極的な外交販売も必要とされていますが、同時に店舗を最大限に活用して、カウンターセールスの成績も上げる必要があるからです。

ショールームは、お店のPRと商品のPRに役立ちます。同時にお客さまに商品知識を得ていただく場として、あるいは商品を売る場所として活用することもできます。

かつてのオートバイ販売店さんの店舗は、商品を展示する場というよりも、むしろ整備作業場としての比重が重かったのですが、お店の営業方針が「修理よりも販売に」変わってくるに従って、店舗をショールーム形式に改造するお店が増えてきたのです。

ショールームの形態は、大きく分けて「見せるショールーム」と「売るためのショールーム」とがあります。お店の立地条件がお客さまの傾向によって、ショールームの形態が違ってきます。オートバイという商品の性格からして、ツンととりすました感じのショールームよりも、お客さまと対話ができるような雰囲気のあるショールームのほうが効果が上っているようです。ヤマハでは、お店をショールームに変えるか、かすの内装用品を準備しました。あいつぐグッドデザイン賞の選定が証明するように、商品であるヤマハオートバイのデザインはセンスあふれるものとなり、色彩もきわめてカラフルになっています。美しいショールームにマッチし、お店を引き立てます。

コトワザあれこれ

雨が少なく、乾燥した毎日が続きます。まだまだ火の元には十分気をつけなければならない季節です。

今月は「火」に関することわざを集めてみました。

火のないところに煙は立たぬ＝全然事実がなければ噂は立ちません。見込客に関する小さな情報にも耳をかたむけましょう。

火は火元から騒ぎ出す＝ワイワイい出す人が事件を起した張本人だった、なんてことはよくあることです。

火を見るよりも明らか＝道理がはっきりしていて、疑う余地のないことをいいます。

火を見たら火事と思え＝ときには、このくらいの用心も必要です。

火を火にいいなす＝脆弁をとおしていいくるめることをいいます。

火を失して池をほる＝火事あとの火の用心＝火事あとの釘しろい＝いづれも時期が過ぎてからあわてても手おくれだという意味です。

火に油を注ぐ＝威勢のいいものに、さらにいきおいをそえることです。

火の消えたよう＝これは急に閑散になってしまった状態です。

火のついたよう＝赤ん坊がワンワン泣きたてる形容。または、むやみに忙しい状態をいうこともあります。

火水の争い＝仲の悪い同士がすごいいきおいでケンカをしている様です。

ことわざには、教訓を含んだものがいろいろあります。

▼北国名物のハサ木を利用した車庫、
近代的なスノーモビルとの
コントラストが
絶妙!

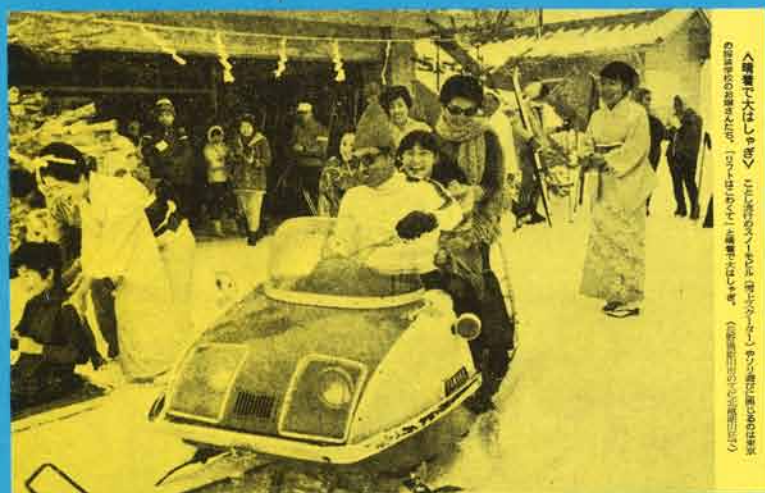


雪国に 新しい楽しみを もたらず ヤマハスノーモビル

郵便配達用にスノーモビル

晴れ着で大はしやぎ

「朝日新聞」ことし流行のスノーモ
ビル（雪上スクーター）やソリ遊び
に興じるのは東京の服装学校のお嬢
さんたち。「リフトはこわくて」と
晴着で大はしやぎ。（長野県飯山市
の文化北竜湖山荘で）（1月5日）



▲晴着で大はしやぎ。三好のスキー場、雪上スクーターやソリ遊びが盛んな。お嬢さんたちも大はしやぎ。リフトはこわくて、晴着で大はしやぎ。（長野県飯山市の文化北竜湖山荘で）（1月5日）

「朝日新聞」北海道の豪雪地帯、ニセコは、いま積雪2メ
ートル以上。ニセコ、倶知安両町の郵便局に全国でも初めての
郵便配達用の「スノーモビル」が1台ずつ配置され、活躍し
始めた。ニセコ郵便局では、冬期間は郵便袋を背負ってスキ
ーを持ち、1日30キロ以上の区域を配達している。1台
とはいえ新鋭雪上車登場に係員は大喜び、配達区域が広がり
人手不足対策にもなる。
（札幌）（12月24日）



北海道の豪雪地帯、ニセコ
は、いま積雪2メートル以上。
倶知安両町の郵便局に全国でも
初めての郵便配達用の「スノーモ
ビル」が1台ずつ配置され、活
躍し始めた。ニセコ郵便局で

郵便配達用に
スノーモビル

は、冬期間は郵便袋を背負って
スキーを持ち、一日30キロ以上
の区域を配達している。1台
とはいえ、新鋭雪上車登場に
係員は大喜び、配達区域が広
がり人手不足対策にもなる。札幌

1月8日、桂田山中町長のテープカットで
はなばなく開場した



雪国に新しい楽しみをもたらす
ヤマハスノーモビルキット開場



ながい北国の冬を、ぱあっと明るくいろ
どるヤマハスノーモビルの勢ぞろい。

SNOW MOBILE CIRCUIT

冬の温泉地帯に新しいレジャーをと、山中町の温泉旅館、商工会などが中心となって日本最初のスノーモビルサーキットを完成、ヤマハスノーモビルS-350Aが12台、20万m²、2kmのコースをところせましと走りまわって話題をよんでいます。

▶お父さんと一緒のスノーモビル、雪国の子供達にはまた一つ楽しみがふえました



段違いの田畑をきり開いて作った特設コースは変化に富んでいて、ジャンプあり急カーブありスノーモビルのだいご味が存分にあげられるとあって、町の高校生や青年達の人気が集中、また温泉の泊り客も団体でおいしかけるなど早くも評判をよんでいます。

使用料は時間制で10分300円、20分500円……と長時間ほど割安になります。

サーキットのヒュッテには売店や食堂も完備していて、大きなストロブをかこんで仲間と楽しいひとときを過ごすことができます。

長い冬の間雪に閉ざされる北国の温泉も、積極的に雪を利用して新しいウインタースポーツとしてのスノーモビルをとり入れることによって、その発展が大いに期待されます。



▲
どうです。カッコいいでしょう。温泉の泊り客も見物に来てどてら姿で得意のポーズ。

新しいモータースポーツ
トレールランが脚光をあびています

トレール車を自在にあやつり、自然を意のままに走破する。そのタイナミックなライディングの楽しさが、行動する若者たちの心を駆りたてずにはおかないからです。

待望のシーズンを開幕まであとわずか

これから、トレール・ランをさそぐ実施してみませんか。

お店の若いお客さんを倍増する絶好のチャンスでもあります。

色へーは静岡県・西南部を中心としたトレール・バイクのガイドです。



林を縫ってずんずん進む。冴えた大気が熱した頬に気持ちよい。

自然を走ろうトレール・ラン

ヤマハがひらく
若者の道

初心者を中心に四組

一三〇キロの行程に出発

好評、トレール・ランの第2回はヤマハのふるさと静岡県の天竜県立公園の探索です。

コースは浜松市萩町のヤマハスポーツ店・駒月自転車店さんを出発点に、浜北、天竜を経て、天竜川をさかのぼり、秋葉ダムを横断して瀬尻国有林を縦横に走破、白倉からイノマ峠を越えて吉沢に出て、国道一五二号線を浜松市に戻る約一三〇キロの行程。

駒月自転車店の代表者・駒月安陸さんに見送られてこのトレール・ランにアタックを試みたのは駒月守さん、原田一考さん、桂勝彦さん、成田豊さん、そして二台の90HTIと125ATI、250DTIのそうそうたる四組のメンバーでした。

駒月さんはかつてクラブのリーダーとして天竜川上流に広がる森林公園をツアーした経験をもちますが、原田さん、桂さん、武田さんの三人のヤマハメイトは若冠十七才、主にベ-



ブメントを舞台に遠乗りを楽しんできた人たちです。それだけに今回のトレール・ランには大きな興味をもっていったものでした。

河原におりて

ジャンプを試みる

天竜川をはさんで二本の道があります。東



遊び帯を

▶河原においてジャンプの真似事。こんな遊びが楽しめるころにトレール・ランならではのダイゴ味がある。



側通りと西側通りです。どちらかといえば東側通りがメインで、西側はジャリジャリ道です。もちろん一行のハンドルはなんのためにもなく西側通りを選んだものでした。淡い砂塵と軽快な排気音を背に、一行は快調なペースで走ります。右に左に、川の流れにさからってつづら折れの道をすすめば、山はゆうようとしてせまり、左右の景色もいよいよ深まってきました。

野趣ゆたかな吊り橋をわたったところで、リーダーの駒月さんが河原へと一行を導きました。ゴロゴロの岩石地帯を乗越え、砂場に到着。小休止のあと、それとなくあたりを散策、格好なジャンプ地形を発見しました。それぞれに目で合図。腕にもものいわせてのジャンプ競技の開始となりました。が、その意気込みとはうらはらに転倒続出、意外なトレール教室の展開となりました。原因はニードグリップの不備です。ニードグリップをきかせていないために、路面からのショックで身体がシート、ステップから浮上がりバランスをくずしての転倒だったのです。ただし地盤は砂地。人車ともに負傷はゼロ。

原因をつかめばトレニングにも熱が入るといふもの。またその上達も早く、一時間後にはもうすっかりベテランなみの腕前をみせ、それぞれみことなジャンプを「もの」にしたものです。

最高にゴキゲン

トレール・ランに拍手

一汗かいて、寒風をついでまたひと走り。秋葉ダムでの昼食時は、それは、それはにぎやかなものでした。

DTIのあとにいたらサ、砂利がガンガン飛んでくるんじゃん、いやイタイの、驚いたの……

真うしろにつくのがよくないのサ。

それと必ず山手を走ること。この心がけを忘れちゃうと、川へおっこちやうぜ。

でもよ、わるい道、飛ばすのほんとに面白いな。

こんなに楽しいとは思わなかったな。

ボンボン跳ねて、首がガクガクしちゃうけど、トレールはよう走るわ。

背中がいたいくらいだけど、ほんとに面白い。またぜひやろう、こっちは景色もいしトレール・ランは最高にゴキゲンだ。

寒さなんか忘れちゃうもんな。

真剣に走っているとあつくなるもん。

なめこ汁にかつ井を胃袋におさめて、休む間もなく出発準備。外はチラホラ細雪が舞っています。元気のよい一行でした。

うまい空気

帰路は高速ツアーを満喫

森林地帯に入って、ジャリジャリ道はせまり、勾配も急な登り坂が連続します。しかしヤマハトレール群は快調、また快調の走行です。新発売の90HTIも、このハードなトレール・ランで実力あるところをみことに実証しています。

途中、冒険を求めて林道にスクランブルすれば、トレール群は水を得た魚のごとく勢いづいて、木立の中を意のままに走りまわります。このダイナミックなライディングにトレール・ランのすべてがあるのです。

ひと汗かいて大休止。大地にとつかと腰を



おろし、また大の字にねそべって腹いっぱい新鮮な空気を吸う。そのおいしいこと。

やがて、冬の淡い太陽は西にかたむき、そろそろ、帰路につく時分。キック一発、四組のトレールは山合いに沈む太陽を追って峠を越え、村を走りぬけ、ゴールめざして高速ツアーとしやれこみました。

無事故、無違反、全員無事に駒月自転車店さんに到着したのは午後四時三〇分。

河原で 森林地 縦断

◀ 道は荒れ、山はせまり、いよいよ本格的なトレール・コースに入った。しかし、愛車は快調そのもの。ゴキゲンなトレール・ランだ。



▲ 巨岩、奇岩の類がゴロゴロ。しばし車をとめて自然の造形の妙に思いをはせる。

▼ 山あい沈む太陽おいかけて、そら、ゴー・バック。舗装路の高速ツアーもまた楽しだ。



かわいたノドと、冷えきった身体に待っていたのはあまく熱い甘酒。それぞれトレール・ランの面白さ、楽しさを駒月安隆さんに報告して次回の決行を約束したものでした。

ヤマハ トピックス

新年フレンド店大会 各地で盛況

新年のヤマハフレンド店大会が各地で盛大に開かれました。

新年度におけるヤマハ発動機の営業方針、商品計画等の発表、優良販売店の表彰や映画会、新春パーティなど、盛り沢山の行事が、なごやかに行なわれました。

いずれの会場も「ヤマハとともに新しい二輪車時代を築こう！」という熱意にあふれていました。

①五千店になったヤマハフレンド店

一九七〇年は、日本にとっても業界にとっても、いろいろと問題の多い年です。われわれもこの七〇年をどうすむべきか、よく考えねばならない年です。

ヤマハの商品計画、営業方針にご賛同してくださるヤマハフレンド店が全国で五千店に達しました。ヤマハといたしましては、商品を広く供給するための基盤を持たせていただけたわけです。決意を新たにし、みなさまのご指導をたまわりながら、間違いない道をすすんでいきたいと思っております。

②アメリカナイズされた生活感覚

日本人の生活感覚が急速にアメリカナイズされ、商品の感覚も変わってきています。われわれといたしましては新しい時代に即応した商品を出していく責任があります。みなさまのご信頼にお応えするためにも、ぜひ実行していきたいかなければなりません。

二、三年前に、アメリカ市場で開発いたしましたトレールに代表されるスポーツモデルは、予想よりも早い速度で普及をみています。ヤマハがアメリカで物を売ってきた経験をみなさまのご商売に反映できるよう、すすめていかなければならないと考えています。

③オートバイ専門店的重要性がますます

ヤマハは、二輪車を専業としてやってまいりました。これに並行した部門としては、ボート、船外機、雪上車と、いろいろな製品を開発してきましたが、世界情勢の中でも期待できる商品であり、みなさまにも将来性を見出していただけるのではないかと考えています。

日本の経済界をリードしていく産業の大きなものとして、レジャー産業、スポーツ産業があります。その一翼をになう決心で、ことをすすめていきます。本年の後半には、レジャーに向けた新しい商品を開発いたします。従来のヤマハ商品に合わせて、ご期待いただきたいものです。

⑦需要を創造する各種の企画

ヤマハでは、トレール教室、運転免許教室、移動展示会など、需要創造のための活動の面でも、勢一杯、ご協力させていただいています。今度は、これに加えてスポーツ教室の開催をすすめていきたいと思えます。

⑧時代に合ったお店づくりの協力

新しい時代に即応するお店づくり、すなわち明るい店、若い人の感覚に合った店、とにかく、立ち寄ればなにか得るところのある内容をもった店、そういうお店になっていただくため、メーカーとしては、できるだけ協



大勢のみなさんが壇上で表彰を受けた関西ヤマハ優秀フレンド店大会（1月15日・大阪プラザホテル）



一九七〇ヤマハ躍進パーティーでは梓みちよさんなど人気歌手も新曲を披露（関西地区フレンド店大会）

われわれが、すでにアメリカで感じてきたような需要の変化が、日本でもあらわれたいという前提で予想を申上げると、アメリカでは一般商品の流通機構がデパートからスーパーマーケットへ、すなわち大量仕入れ大量販売へと移っています。

しかし、オートバイという商品に関してはアメリカでスーパーマーケットで扱う試みがなされたこともありましたが、失敗におわっています。

すぐれたアフターサービスと、お客さまに信頼される専門知識はオートバイの専門店以外には求められないでしょう。オートバイの専門店がサービス力を強め、同時に店舗のレイアウトなどによってスポーツ店として大型化していく傾向が目立っています。

日本でも、みなさまの重要性がますます比重をましてきます。

④時代にあった豊富な商品を開発

ヤマハでは、それぞれのお客さまの目的に合った各種の商品をつぎつぎと提供させていただかなくては、時代のすう勢に合わなくなると考えております。

具体的な例といたしましては、まずヤマハスポーツ650XS1があります。ご存知のとおり、ヤマハでははじめての4サイクルエンジンを搭載したオートバイです。そのバックグラウンドとしてはトヨタさんとの技術提携による二〇〇〇GTやトヨタ7の実績があります。

世間一般に大排気量車は4サイクルが多いからといって、別に、それを狙ったわけではありません。このシリーズを当然そろえていくというのが、われわれの抱負です。

使用目的によって、4サイクルの特色が生かされる場面と、トレールのようには2サイクルの利点が生かされる場面とがあります。

使用目的や車の性能によって、お客さまが車を選べるよう、車種を豊富にしていく責任がメーカーにはあります。

⑤トレールシリーズ完成へ

トレールモデルは、若い人たちの好みにも合っており、いまや、はっきりした分野を占めるに至っています。このシリーズの完成もわれわれの課題です。250cc、125ccに加えて、今年には360cc、90ccをみなさまに取扱っていただける準備をすすめています。

⑥レジャー産業をリードするヤマハ

力を発していきたいと思っております。近く発売されるモキックスや、メイトその他、小排気量車に重点をおくお店づくりをなさる方もいらつしやるでしょう。一方、オートバイのスポーツ化の傾向にマッチしたお店づくりに努められる方もあるでしょう。それぞれの地域性に合った、個性のあるお店づくりをすすめていただきたいと思います。

同時に、お客さまの組織化を図って、需要の方向性をキャッチできる体制をつくっていただきたいものです。

ヤマハ発動機
江口 秀人 常務取締役
の挨拶

要旨
関東、関西会場にて

⑨カラフルなヤマハの魅力で

商品は品質が大事であると同時に、見た目の魅力、つまり若い人たちにアピールする外觀も欠かすことができません。

ヤマハでは、ここ数年にわたって、色の開発に努力してまいりましたが、この面でもアメリカで好まれる色は日本の市場でも若い人たちに受けるという結果が出ています。今後カラーを豊富に、心をつかむ色の開発を強力に行なっていきたいと思います。

若い人がカッコいいという内容がなんであるか、つねに把握していくための勉強が重要なポイントであると思っております。

⑩若い需要層の好みをつかむ

日本では、十五才から二十九才までの人口比率が全体の三〇%を占めますが、商品に対する影響力は三〇%をはるかに上回る比率であるといわれています。若い人たちの欲するものをいち早くとらえる。それには、第一線で直接、需要層に接しておられるみなさまのご意見、ご指導が不可欠です。お客さまの動向を把握できる体制をつくっていただきたいと思っております。



▶ ヤマハ発動機江口常務から表彰状を贈られる優秀販売店に拍手を送るみなさん（関東地区フレンド店大会11月14日・芝プリンスホテルにて）
江口常務と力を合わせて、景気よく酒樽の鏡を割る
長野県の湯本モーターズさん。



水のヤマハも大きく躍進

ボート・和船工場を増・新設

急増するボート需要に対応するため、かねてより増築工事を急いでいた新居工場の第四工場がこのほど完成、ボート部門七〇パーセントのシェアを占めるヤマハがまた一段と大きく成長しました。

新築の第四工場は第三工場に隣接した四万平方メートルの敷地に一万五千平方メートルの建設面積をもつ

もので、この第四工場の稼働により、ヤマハのボート生産部門はローボートに換算して年間十万余隻の能力をもつ、文字どおり世界有数のボートメーカーとなりました。

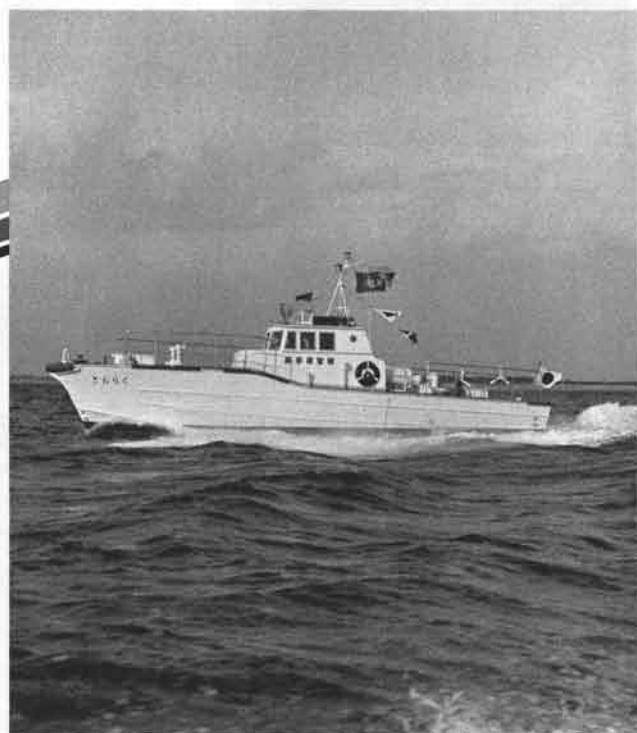
またこの新居工場とは別に、九州天草においても新工場の建設がすすめられており、この五月には稼働することになっています。

アメリカの

トップ販売店が来日

六九年度のセールス・コンテストで優秀な成績をあげたアメリカのトップ販売店四十店のみなさんが、家族同伴でこのほど来日。ヤマハ本社工場をはじめ北川自動車などヤマハ企業集団を訪問、また京都、東京、日光など十日間にわたる観光旅行を楽しみました。

上社長夫妻と



「さんりく」主要項目

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ■全長 15.6m | ■最高速力 18ノット |
| ■巾 4.4m | ■巡航速力 16ノット |
| ■深 2.0m | ■航続距離 250マイル |
| ■総トン数 約30トン | |
| ■計画排水量 18トン | |
| ■主機 米国GM社製
高速ディーゼル2基 | |
| ■最大出力 320 PS × 2 | |
| ■常用出力 265 PS × 2 | |

海のパトカー「さんりく」が進水

ヤマハ発動機が、岩手県からの受注によって建造した警察警備船「さんりく」が、このほど進水しました。

「さんりく」は、昨年3月末、静岡県に引渡された漁業取締船「天竜丸」9月

竣工の福島県漁業調査取締船「あづま」と同型のF.R.P.艇です。

新年早々から岩手県沿岸の警備や密漁の取締りに活躍しています。

▼歓迎パーティで川
歓談するみなさん



「オーストラリアのヒーロー ロン・トームズ選手」

昨年、ヤマハ二五〇ccTD2、三
五〇ccTR3のライダーとして、オ
ーストラリアのビッグレースに連戦
連勝したロン・トームズ選手が、オ
ーストラリアの誇りとして英紙モ
ーターサイクルで紹介されています。
写真はシドニー近郊のオラン・パ
ークのレースで、69年度二五〇cc級

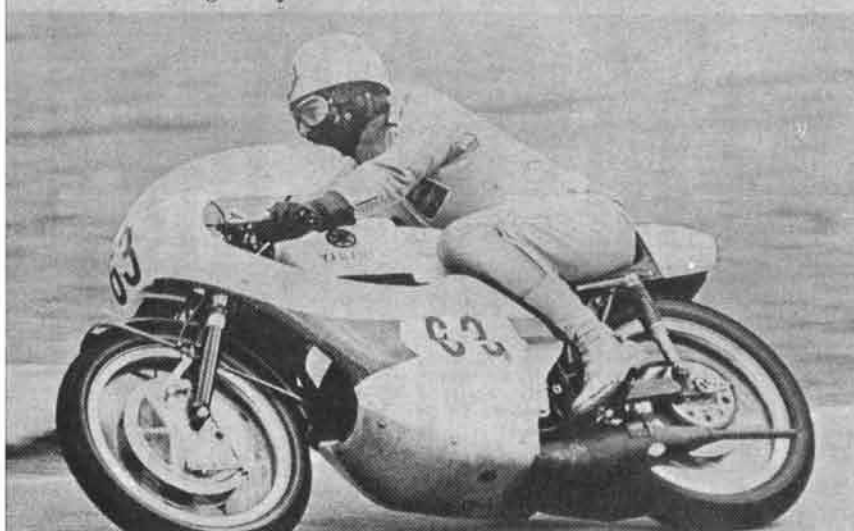
チャンピオンのK・キャラザースと
激戦を演じて優勝した際のもので、
マシンはTR2です。

世界選手権レースへの登場が待た
れますが、このほうは仕事の関係（
建設現場監督）および家庭の関係も
あつてさしあたりはちよつとむずか
しいようです。（Motor Cycle紙より）

ヤマハ
トピックス

AUSTRALIA'S PRIDE

TOP MAN in Australian racing this year is Ron Toombs, seen here in action on a 350 cc Yamaha. At Oran Park, near Sydney, recently he beat both Kel Carruthers and Eric Hinton four times, riding the Yamaha and a 500 cc Matchless. But Ron is unlikely to race in Europe. A building construction foreman, he and his wife have three adopted children which makes it difficult for him to get away.



マイク・ダッフ 選手が引退

ヤマハレーシングチームの栄光と
共に、世界オートバイレース史上に
未長くその名をとどめるべき名ライ
ダーのひとり、カナダのエース、マ
イク・ダッフ選手がこのほどレー
ス界からの引退を表明しました。

十五年におよぶ彼のレース歴の中
で特筆されるのは、六四、六五年ヤ
マハチームのメンバーとして、フィ
ル・リードによる二五〇cc級二連覇
に大きく貢献したことであり、彼自
身もまた、六四年度ブルーギーパー
二五〇cc級、六五年度フィンランド

GP二五〇cc級、六五年度ダッチT
T二二五cc級の優勝をはじめとする



数々の戦績を残しました。

不幸にも六五年度日本GP公式練
習中に負った大たい部の怪我がもと
で、GPレースシーンから遠ざかり
ましたが、それ以後もアメリカ、カ
ナダのビッグレースには、ヤマハの
市販レーサーを駆って出場し、好成
績を収めてきたのです。

レース界引退後は、その経験と知
識を生かして、カナダのヤマハ代理
店であるフレッド・デーリー社に勤
務、ヤマハの販売に腕をふるうこと
になっています。

こんにちはヤマハです!

大阪市東区谷町……………戸山モータース

こうしてクラブをつくりました

〔ヤマハ発動機大阪西営業所発〕大阪より楽しいツーリングクラブの誕生をお知らせします。服地既製の問屋さんの多いことで知られている大阪は谷町の戸山モータースさん。最近、創立二十周年を迎えられ、これを機に経営方針を一転、従来の軽四輪主体から立地条件、将来性をあわせ考え、オートバイ主体に切りかえられました。

まず手始めとして、ツーリングクラブを結成して、若い人の中に飛び込もうということ、ご主人も奥さまも一到協力し合つて、若い人にとけ込んでおられます。クラブ員も急激にふえ、話題はもつばらヤマハスポーツXSIとか。人生相談の場所になったり、また女性特別会員も出てきて、楽しいクラブへと発展しつつあります。

今後の方針としては月一度のツーリング大会、週一度のミーティング、今から夏のキャンプの計画もしているとか、本当に楽しいク

ラブです。ヤマハフレンド店、スポーツ店として意欲的に活動を展開する戸山モータースさんです。

戸山モータースさんは、代表者の戸山たけさん(56才)に、長女君代さん(27才)長男の伸一郎さん(32才)と君代さん(27才)長男の戸山明夫さん(22才)が協力し合つて、お店を盛り立てています。

スポーツ車時代にさきがけて、若いお客さまの集まる店づくりを目指し、店舗の内外装を改良したり、トレール教室、ヤマハ運転免許教室の開催なども積極的です。

ツーリングクラブの結成もその一環。お客さまの協力を得て、TTC(戸山モータース・ツーリングクラブ)が昨年十月に誕生しました。

以下は、戸山モータースの前川伸一郎さんが、ヤマハニュースのために寄稿してくださったTTCクラブ結成前後の話題です。

クラブ結成の布石となった 創立20周年記念ツーリング

紅葉には少し早い44年10月12日(日)の秋晴れのもと、私の店では創立20周年謝恩記念ツーリング大会を致しました。目的地は京都嵐山高雄方面でした。

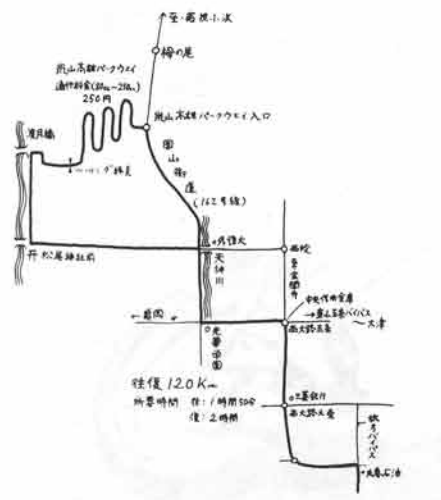
その時の楽しかった模様をお知らせしたいと思います。朝9時30分集合としましたところ、9時には早々と集合してくださり13名集まりました。DS6が1台、DT1が3台、AT1が4台、YDS3が1台、CL90が1台、それに伴走者としてヤマハ西営業所よりサービスマンが来ていただき、全員無事故を祈り10時に出発を致しました。途中は混み、枚方バイパスに入るまで相当時間がかかりました。

が、周山街道(162号線)に入り無事目的地に着く事が出来ました。梅の茶屋という所で食事としました。

北山杉が立ち並び清流川の清流に床を敷き、赤毛壇を敷いてあるところで山菜料理に舌鼓を打ちました。わらび、どろろ、鮎塩焼と山菜の味覚を楽しみましたが、なに分若い人達ばかりなので食べ方を知らないというハブニングが登場、全員大爆笑が起り食事を終りました。午後は嵐山高雄パークウェイに入りました。完全舗装、クロソイド曲線を取入れた変化に富んだ道路であり、愛宕山、小泉山、又、下を見れば千仞の谷という工合に四方八方の山々が出来、また保津峡下りの船も遙か下に見え大変美しいドライブウェイです。嵐山清流ゲートを降り、有名な渡月橋の所で左折帰路につきました。途中多勢ツーリングを楽しんでいる人達に逢いましたが、ヤマハスポーツ車ばかり10台で走っているわれわれを見て道行く人も振り返り、修学旅行生の間から「カッコイイ!!」の声も掛かり、十二分にツーリングの楽しさを味わい帰って来ました。また心配しておりました事故や違反者も誰一人なく無事に帰りましたのは午後五時でした。このようにお客様との連帯感又客と客との連がり深め、また今後ヤマハ製品の拡販に一層の努力をかさね必ずや発展につながっていくことを確信して実行に移す事が出来、大変幸福に思っております。



になった嵐山高雄方面クウェーで。





TTCクラブ部のオートキャンピング



クラブ結成の足がかり
ツーリング。嵐山パー



ツーリングクラブの誕生と 第一回オートキャンピング

前回行ないましたツーリング大会は私の店の招待ツーリングでありましたが、私の意図はツーリングクラブをつくること为目标でありました。今回見事に成功致し、お客様よりツーリングクラブ結成希望の声が上り、お客様の中より会長も「私達二人でやらしていただきたい」という人が現れ、今回名称もTTC（戸山モーターズツーリングクラブ）と決定、ここに新しく誕生致しました。会長は小沢八郎さん、市川豊さんのお二人です。お客様の運営で事を運び、また私の家内が副会長となり、経費等は会費で賄い、今回一人三百円の予算で結成記念第一回ツーリング大会を行なうことが出ました。本当に心より嬉しく思っております。

さて、秋晴れの11月9日(日)、前回とは趣きをかえ、大阪のチベットのいわれております北摂の能勢一庫キャンプ場へ飯盒炊さんに行きました。

ツーリング先きで即席トレール教室。インストラクターを勤める前川さん

大阪駅より十三大橋を渡り国道一七二号線を北へ、庄内、服部、豊中、蛍ヶ池と大阪のベッドタウンをぬけ、阪急池田駅前を過ぎ、三叉路を右に取り、ほどなく三叉路を左へ溪流に没う田園風景を見ながら一庫温泉キャンプ場に着きました。

さて食事となり今回はクラブ員のガールフレンドが参加、毎日電化生活を営んでおります私たちが火をおこし、薪をくべ、悪戦苦闘の上、遠い祖先の原始生活もさぞ大変だったろうと思いつながら、目には涙、顔はすすだらけの有様でようやくスキヤキパーティーが始まりました。何分、目的の地までまっしぐらに來ました上、空気がきれいで、食欲旺盛この上ありません。

食事を終え午後は河原での即席トレール教室を開催、川の中を水しぶきを上げ走る人、大きな岩をジャンプする人、思い／＼に車を走らせ本当に楽しい時間をすごしました。

トレール教室等即席では有りましたがヤマハスポーツ車の真価を発揮、会員の心にヤマハオートバイでなければ!!との思いが深く刻み込まれたと思っております。

クラブの発展がまた今後の拡販につながることも必至であるとの確信を持ち、本当に楽しい有意義なツーリング大会を終えました。



掃路は同じコースで帰るのはつまらないとの意見で池田より宝塚まで、宝塚より伊丹を経て西宮へ阪神国道を通り帰ってまいりました。一人の落伍者もなく無事に帰る事が出来まして本当に嬉しく思いました。

前回、また今回と回を重ねるに従いましてメンバーも増し一回一回の経験を生かし楽しいプランのもと、一段と躍進して行くクラブにと思いを馳せております。

YAMAHA **ビューナル**

たくましい実力 ヤマハトレール90HTI

★ヤマハトレール90HTIの発売は行動派ヤングメンの間でとくに大きな反響を巻き起しています。東京モーターショーに展示された量産試作車でテスト・ランを行なった専門誌のベテラン・ライダーは、これぞ本格派の90トレールと太鼓版を押しています。

〔モーターサイクリスト〕九〇ccの本格的ト

の機会を得た。

走りだしてホホーと思うことがある。それは考えていたよりもよく走るマシンだ、ということがある。一二五のAT1と比較した場合でも、ひけをとらないくらいの走り方をするのだ。

ギヤレシオもワイドでなし、極端にクロスしているわけでもなく、この90HT1によくあっているギヤレシオ、とみることができらう。

ハンドル巾がDT1なみにあるが、形状が少し異なっているため、ライディングポジションは良好なものとなっている。(2月号)

余裕あるパフォーマンス

ヤマハスポーツ六五〇XS1

★昨年の東京モーターショーでベールを脱いだヤマハスポーツ六五〇XS1は、内外の専門家、ユーザーに大きな反響を巻き起しています。専門紙誌の紹介のペンもとくべつ熱が入っているようです。

〔オートバイ〕ヤマハが初めて4ストロークに挑戦した意欲的なモデル「ヤマハスポーツ六五〇XS1」がいよいよ三月を期して市販されることになった。

ショー登場以来とくに変わるところはなく七五×七四ミリの六五三ccOHC直立ツインは、毎分七千回転にて五三馬力、トルクは毎分六千回転にて五・五キログラム・メートルと余裕たっぷり性能をもつ。このあたりロング・クルージングの豪快なフィーリングと扱いやすさを考慮した意図が感じられる。

また、この余裕あるパワーは、2個のソレックスSUキャブの効果、あるいは5段ミックスionにより、むらなく生かされよう。当然のことながらエンジンは、もつとも気を配ったものとみられ、極力コンパクトしたレイアウト、整備性はもとより耐久性など、細かな点まで配慮されている。なおミツシオンレシ

加速十三秒の高速味あふれる性能はもとより前三・五〇―十九、後四・〇〇―十八の大径タイヤ、エアスクープ付の前二〇〇ミリ、後一八〇ミリ径のブレイキなど、高速ロング・クルージング設計が施されている。新たな話題を呼ぶにちがいない(二月号)

セールボート(ヨット)を生産

九州に和船・ボート工場を新設

★水のヤマハも大きく躍進していることはトビックス欄でもお伝えしていますが、ここに紹介するのは新商品セールボートの開発とボート九州工場新設のニュースです。

〔読売新聞〕ヤマハ発動機株式会社は、アメリカ・コロンビア社と技術提携、昭和四十五年四月からヨットの生産に乗り出し「セールボート」を発売すると十二月八日発表した。同社はさる三十五年から強化プラスチック材を使ったボート生産に着手、現在は国内の七〇パーセントのシェア(市場占拠率)を占めるメーカー。提携先のコロンビア社はカリフォルニアに本社を置き、年間二千五百隻の販売を誇るアメリカ第一位のヨットメーカーである。(十二月九日)

〔中部経済新聞〕ヤマハ発動機株式会社は、FRP(強化プラスチック)和船・ボートの需要増大と主力需要地域での生産をめざし、熊本県天草郡姫戸町に九州工場を十二月から建設することになった。九州工場は船体工場で、用地六万六千平方メートルに、鉄骨平屋四千平方メートルを建設、四十五年五月からFRP和船、ボート二千隻を年間生産する計画。

天草郡姫戸町に工場を建設するのは、日本の筆頭のり漁場有明海に面して需要も多く、しかも労働力が豊かなうえ、いままでの静岡県浜名郡新居町の船体工場からでは輸送費もかさむため、九州進出に踏み切ったもの。

実用にレジャーに大活躍のヤマハスノーモビル

★雪のシーズンの到来と共に、積雪各地で人気のマトとなっているのがヤマハスノーモビル。実用にレジャーに、縦横無尽の活躍ぶりが新聞や雑誌で大きく取上げられています。

レールモデルが発売になった。それはヤマハトレール90HT1だ。二五〇のDT1、一二五のAT1につづくTシリーズの九〇ccモデル。今回このHT1に短時間ではあるが試乗

オは①二・二二四、②一・五八八、③一・三〇〇、④一・〇九五、⑤〇・九五六となっている。最高速度は一八五キロ/時以上、ゼロヨン

九州工場の稼働で、四十五年五月からの和船・ボート生産数量は二万隻となるが、さらに四十六年までに九州工場の設備を増強し、八千隻の量産を予定している。(十二月九日)

その一 雪原をスノーモビルでどこへ行こう

〔毎日新聞〕わが国ではまだ珍しいスノーモビルのレンタル場が妙高山ろく・関山のエスピー山の家でこの15日オープンした。最高時速60キロ。2人まで乗れて、スタイル的にはいわば“雪上スクーター”といったところ。現地に行って乗ってみた。車の前部に二本のソリ、後半部にはキャタピラがある。山の家の前は広い雪原。まず山の家専属の指導員が雪固めを兼ねて乗回した。1周200メートルくらいのコースが見る間に出来上がった。指導員のハンドルさばきは全く見事なもの。とくに深々と新雪が積もるところでは、パッと雪けむりを上げて疾走、また雪のくぼみはジャンプしてかけ抜けて行く。操作を教わり乗ってみる。はじめはなかなかハンドルさばきのカンがつかめない。オートバイのようにバンドルをうまく切れないと、加速のタイミングが合わないからだ。だが、2、3周もするうちに調子がわかってくる。雪の起伏をぐんと登り降りするときの痛快さ。ちょうどスキーとオートバイの楽しみを合わせた感じ。女、子供でもすぐなれる。山の話では、2月になると雪質もさらに安定して走りよくなるそうだ。(1月23日)

ある国ではまだ珍しいスノーモビル(小型車)一写真一
のレンタル場が妙高山ろく・関山のエスピー山の家でこの15日オープンした。最高時速60キロ。2人まで乗れて、スタイル的にはいわば“雪上スクーター”といったところ。現地に行って乗ってみた。車の前部に二本のソリ、後半部にはキャタピラがある。山の家の前は広い雪原。まず山の家専属の指導員が雪固めを兼ねて乗回した。1周200メートルくらいのコースが見る間に出来上がった。指導員のハンドルさばきは全く見事なもの。とくに深々と新雪が積もるところでは、パッと雪けむりを上げて疾走、また雪のくぼみはジャンプしてかけ抜けて行く。操作を教わり乗ってみる。はじめはなかなかハンドルさばきのカンがつかめない。すぐ新雪に突込んでエンジン。オートバイのようにハ

雪原をスノーモビルで

どこへ行こう

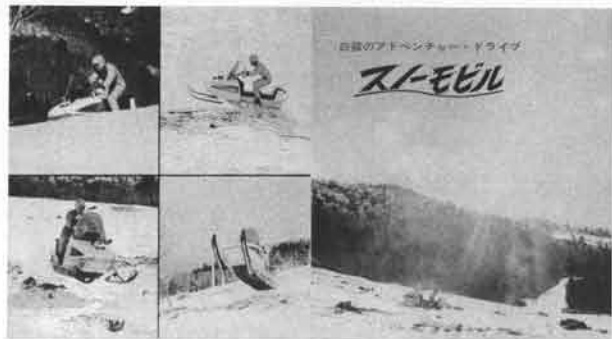


ンドルをうまく切れないと、加速のタイミングが合わないからだ。だが、2、3周もするうちに調子がわかってくる。雪の起伏をぐんと登り降りするときの痛快さ。また、雪のくぼみはジャンプしてかけ抜けて行く。操作を教わり乗ってみる。はじめはなかなかハンドルさばきのカンがつかめない。オートバイのようにバンドルをうまく切れないと、加速のタイミングが合わないからだ。だが、2、3周もするうちに調子がわかってくる。雪の起伏をぐんと登り降りするときの痛快さ。ちょうどスキーとオートバイの楽しみを合わせた感じ。女、子供でもすぐなれる。山の話では、2月になると雪質もさらに安定して走りよくなるそうだ。そのころには山の家の方の営業は1日、800円程度の観光コースを整備するといふ。現在、輸入車を白めて10台用意。また、雪原をカマの子のよりに走り回るアンフィキョット(水陸両用車・4人乗り)も2台ある。レンタル料はスノーモビル30分800円、アンフィキョット1日1000円。一問一答は日本スノーモビル協会(電話 03-402-0328部)か直接現地のエスピー山の家(025575129番)へ。

その二 白銀のアドベンチャー・ドライブ スノーモビル

〔モーターマガジン〕スノーモビルはもともと降雪地方の輸送手段として開発されたものだが、その場所を選ばない機動力は雪の上の遊びにもってこいだ。ボディーは小さいが、雪によわいゴムのタイヤとちがってキャタピラで駆動するのだから本格的だ。ヒザぐらいまでの雪の量ならば、登り(登坂能力20度)であれ、下りであれ、意に介さないで走ることができる。最高スピードもばかにならない。平坦地をフル・スロットルで60キロ以上は確実だ。高さ30センチぐらいのちょっとしたギャップを越えるときでも、スノーモビルは派手にジャンプする。痛快である。

走りかたはきわめてカンタン。ハンドルの右側にあるスロットル・レバーを握るだけである。ブレーキ機構もあるが、スロットルを戻すだけでたちまち減速する。走行抵抗がきわめて大きいからだ。最後の制動はブレーキを使ってとまればよい。速度をあげなければ



それも必要ないくらいだ。方向転換は重心の移動によって行なう。曲ろうとする側に身体を倒せばよい。予備知識はこれだけでじゅうぶんである。あとはスキーをもって新しいスロープの開拓に出かけるのもよいし、スキー場の人ごみを離れて静かな所で恋のムードなんてのもわるくない。

若者に与えられた特権は大いにエンジョイしよう。老婆心ながら、スノーモビルとはいえ一応軽自動車である。登録ナンバーをつけなければならないし、運転するときは免許証も必要である。(2月号)

＝歯車のはなし＝

歯車＝ギヤのこと。ギア、ギヤー、ギヤーともいいます。しかし、よくギヤーというのを見かけますが、これでは文字どおり“ぎゃあ”という発音になり、とても歯車(gear)と結びつくものとはなりません。

それはともかく、ギヤの働きは動力を伝達したり、その回転数を変えて、伝達力の増減を図ることにあります。オートバイに使われているギヤといえば、さしずめミッション・

ギヤ、正確に言えばトランスミッション・ギヤでしょう。日本語でいえば変速歯車ということになります。これに対して減速歯車ともいわれるギヤがあります。エンジンから変速機へ動力を伝達する一次伝動装置のギヤのことです。オートバイに使われているギヤといえばまずこの二つのギヤが代表的です。

今月はそのギヤ＝歯車のバックラッシュについて解説していきます。

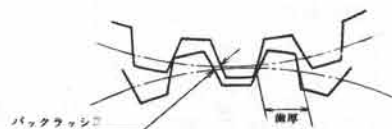
1 噛合い歯面の遊びバックラッシュ

あらためて述べるまでもなく、歯車は歯車の歯の噛合わせがきわめて重要で、ただ噛合っていればよいというものではありません。歯車はその製作時の公差もあれば、駆動中における歯の変形、熱膨脹、軸のたわみ、騒音

の発生などがあり、その噛合わせには高度な技術が要求されるものです。

その一つにバックラッシュがあります。バ

ックラッシュとは噛合う歯と歯の歯面の遊びのことで、この遊びを適切に保つことが歯車を円滑に回転する重要な因子となっているのです。ただし、このバックラッシュが大きすぎますと騒音や振動の発生をとまないので、バックラッシュは支障のないかぎり小さく保たねばならないのです。



3

シュにあるかどうかを測定します。したがってこの歯厚の測定値(またぎ歯という)が大きければ大きいほどバックラッシュは大きくなるわけですが、バックラッシュの大小は噛合うお互いの歯厚に関係するため、噛合う2つの歯車のバックラッシュの量は、両方のまたぎ歯厚の和で大小をみます。

減速歯車(大)

減速歯車(小)



4

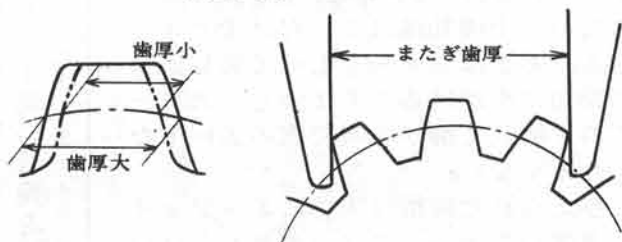
下の表はヤマハ各車の減速歯車大・小のまたぎ歯厚数値の組み合わせ(減速歯車大・小の数値の和)規準を示すものです。このまたぎ歯厚の数値は下図のように歯車の側面に電気ペンで記入してあります。

またぎ歯厚数値組み合わせをこの図から説明しますと――

組合せ数値＝減速歯車(大)数値＋減速歯車(小)数値……で、140＝80＋60……となります。

2 バックラッシュの調整

バックラッシュの大きさは歯車の歯の厚さ(歯厚という)によって調整するようになっており、歯厚の大き目のものを組み合わせることによってバックラッシュを小さくすることができます。



歯厚は歯厚マイクロメーターによって歯車の何枚かの歯をはさんで、所要のバックラッ

車種	組合せ規準値	車種	組合せ規準値
メイト	139～145	CS 2	128
F 5、J 5	139	DS 6	167
H 3	142	DT 1	102～109
AS 1	150	R 3	91～102
AT 1	140	FS 1	140
YA 7	130		

雪上に道をひらく ヤマハスノーモビル S-350A



雪上に新しい道をきり開き、雪国の暮らしを変えたヤマハスノーモビル。この冬も、雪積地の生活必需品として、あるいは雪上のスポーツ・レジャー用品として、活躍の場が広がっています。とくにこのシーズンは、スタイル、性能、安全性ともに一段と向上した新鋭S-350Aが登場し、話題となりました。

- 運転は普通免許でOK●リコイル式のバンドスターターで二十馬力の高性能エンジンが始動●2サイクル2気筒、2キャブ方式のオートループエンジン●スムーズで安全な加速●シャープなハイ・スピード走行もアクセルひとつで自由自在●ベルトマチック・トルクコンで、クラッチ操作は不要●雪面をがっちりグリップし、二十度の急坂をラック登るトラック●直進もターンも意のまま。オートバイ同様のバーハンドル●三連六組のサスペンションホイールと豪華なシートで乗心地は快適●冷たい風を避ける大型な風防●吹雪の夜も効果的な全天候型12V 35Wのヘッドランプ●大型なフラッシュャーランプ●強力なディスクリューキなど安全対策は万全です。

ヤマハスノーモビルS-350A

●寸法		総排気量	338cc
全長	2,650mm	最高出力	20ps/6000r.p.m.
全巾	790mm	最大トルク	2.8kg-m/4000r.p.m.
全高	1,180mm	潤滑方式	分離給油(ヤマハオートループ)
重量	190kg	給油方式	リコイル式ハンドスターター
乗車定員	2名	気化器数	2
●性能(条件一新雪路み固の雪面で2名乗車)		●変速機型式及び車体	
登坂能力	20度	変速機型式	Vベルト自動変速機
燃料消費率	5km/l	トラック	460mm単列
●新雪走行性(雪質にもよりますが、歩行時に雪面がヒザまでならば走行可能です)		ブレーキ型式	キャリパー式ディスクブレーキ
●エンジン		燃料タンク容量	14.0ℓ
型式	2サイクル・5ポート	オイルタンク容量	2.3ℓ
冷却方式	強制空冷	懸装装置	スキー：重ね板バネトラック トーションスプリング
気筒数	2シリンダー	前照灯	12V-35/35W
内径×行程	60×59.6mm	尾灯	12V-23/7W
		方向指示器	12V-23/7W

都会のジャングルから山間のけもの道まで.....

男は行動半径を広げる!

カッコよく行動するヤングマンの象徴「ヤマハトレール」。都会のジャングルのビルの谷間でオートループ・エンジンが力強く咆哮するとき、あるいは山間のけもの道に自然を求めてさすらうとき、行動する若者の血には野性がよみがえる。ヤマハトレールは、男の行動半径と、ライディングの楽しさを大きく広げる。



ヤマハトレール250DT1

- 登坂力 35°
- 最大トルク 2.32kg-m/5,000r.p.m.
- 最高速度 120km/h
- 最高出力 18.5ps/6,000r.p.m.